

問題

19 世紀初頭から第一次世界大戦までの時期の東ヨーロッパを支配していた、ハプスブルク帝国、オスマン帝国、ロシア帝国の三帝国が、この間に経験した変化について記しなさい。その際、以下の条件にしたがって解答すること。

- ①三帝国を順番に記述するのではなく、時期区分や年代や年号などを適宜示しながら時代順に記述する（年表のような年号と事実の箇条書き的な羅列ではなく、文章で記述する）。
- ②各帝国のどのような側面についての変化なのかを明示し、複数の側面について、いかなる変化をしたのか（あるいはしなかったのか）を記述する。

(※) 提出期間、制限字数や書き方、提出方法、注意事項などは、「授業案内」のラベルの中の「今後の予定と学年末試験について」という箇所にアップロードされている文書の中に記されていますので、それにしたがってください。

以上

講評

「ヨーロッパ政治史 I」の試験では、設問に付された条件を無視して、何か関係ありそうなことを書き連ねる答案が少なからずあった（当然にその種の答案には低い評価しか与えられない）。そのため講評では、「この問題で（というより試験一般で）重要なのは、設問が問うていることを正確に把握し、その問うているものに答えることである（関係がありそうなことを書けばよいというものではない）」という注意を喚起した。そのせいか、今回の「ヨーロッパ政治史 II」では、設問の条件に沿った回答を作る構えがはっきりとしている答案が多かった。

条件については、大きく二つの書き方がある。第一に、時代区分をして、その区分の中で、各帝国の立憲主義の進展や領域の変動などの変化を書くというものである。第二に、立憲主義や領域などの局面ごとに、時代ごとの各帝国の変遷を書くというものである。どちらにせよ、時期、変化の局面、三帝国の具体的記述、を整理して書かなければいけない。そして、どの程度、整理して過不足なく具体的な記述ができているのかで、評価の違いが生まれた。なお、たとえば、立憲主義について書くと明示し（てそれだけしか書かず）、しかも三帝国を順番に書いた答案は、実質的に二つの条件を無視しているため、低い評価しか与えられていない。